

平成 21 年 8 月 28 日

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン  
代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦  
(ヘラクレス市場 銘柄コード:4764)  
問い合わせ先 経営管理グループ長 佐藤 真由美  
TEL:06-6363-2322(代)

### 業績見込みに関するお知らせ

平成 22 年 1 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)の連結業績の見込みにつきまして、前年同期比較で下記のとおり乖離があることが予想されますので、お知らせいたします。

#### 記

1. 平成 22 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間業績の見込みと前年同期比較 (平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前年同期(A)	103	△84	△82	832	30,954.45
今回見込み(B)	148	△64	△62	△63	△2,356.19
増減額(B-A)	44	19	20	△896	△33,310.64
増減率	43.3%	—	—	—	—

2. 平成 22 年 1 月期第 2 四半期連結累計業績の見込みと前年同期との乖離の理由について

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、企業収益や設備投資の減少等により、依然厳しい状況で推移いたしました。

情報サービス産業におきましては、IT 投資抑制のなか、顧客にとってのビジネス価値を高めるアプローチが必要となり、情報技術全体の最適化とともに経営との一体感が強く要求されてまいりました。

当企業集団は、グローバル化に対応しうるモデリング技術の普及と活用を推進すべく、OMG 認定技術者資格試験、BPM(\*1)コンサルティング、モデリング技術を活用した構築などへ、事業モデルの構造転換をはかっております。

具体的には、今後大きな市場が見込める BPM/ SOA 分野へ向け、より上流工程を狙った案件の発掘活動を進めるため、具体的なモデリングビジネス企画立案、コンピュータ利用技術に関する国際標準化団体 OMG 及び関連団体との連携強化、首都圏及びモデリングビジネスへの人員シフト、BPM の普及と活用の推進のためのフォーラム実施などをおこなってまいりました。逆に、市場が不透明なシステム開発支援サービス業務にかかわる直接要員は縮小いたしました。また、販

売活動に応用するため当社でBPMを活用した内部統制システムの記述をおこなっております。

連結子会社ディーキューブにおきましては、大手IT企業が保有する投資不動産処理にかかるコンサルティング活動と本業務に連動する不動産仲介活動をおこなってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきまして売上高148百万円となりましたが、費用を吸収するにはならず、営業損失64百万円、経常損失62百万円となりました。四半期純損失につきましては、前年同期において貸倒引当金戻入益996百万円を計上しておりましたが、当第2四半期連結累計期間においては、当該事項がないため63百万円となりました。

(※1)BPM(ビジネスプロセスモデリング)とは、複数の業務プロセスや業務システムを見直し最適なプロセスに統合、制御、自動化して改善をつけてゆく取り組み。

※上記の業績見込みにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上